

試合番号 : 435	試合会場 : 宝来屋郡山総合体育館 (郡山総合体育館)	観客数 : 1,197
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:29	試合時間 : 01:29
主審 : 品川 美帆	副審 : 高橋 宏明	
デンソーエアリービーズ 通算 10勝 15敗 ポイント: 31	25 第1セット 17 25 第2セット 14 25 第3セット 21 第4セット 第5セット	KUROBEアクアフェアリーズ 通算 8勝 16敗 ポイント: 22
監督コメント 「サーブで攻めて、試合の主導権を握ろう」と試合に臨みました。1本目のサーブからチーム全員がサーブで攻めることができました。チームとして、今の現状を受け入れて攻められたことがサーブ以外のプレーや表情に表れていたと思います。一戦必勝で臨み、私達のサーブを通して、多くの方々にたくさんのお声を届けるように明日も頑張ります。今日も熱いご声援ありがとうございました。	3	監督コメント ディフェンス力の違いが顕著に現われたゲームであった。また、チームの約束事を守ることができず、不甲斐ない内容となり応援して下さる皆様には申し訳ない気持ちでいっぱいです。今一度、自らがやるべきことを再確認し、まずは明日のゲームで力を発揮できるよう準備したい。
要約レポート この試合はどうしても勝ちたい、レギュラーラウンド8位のデンソーエアリービーズと、10位のKUROBEアクアフェアリーズの対戦。第1セット、デンソー長頭、中元のスパイクでリズムをつかみ12-5とリードする。テクニカルタイムアウト後にKUROBEは中村のスパイク、ブロックで連続得点し追いつけるも、デンソー中元がブロックを利用しながら得点し、セットを先取した。第2セット、序盤は互いに譲らずサイドアウトの展開となった。中盤からデンソー横田(紗)のスパイクがよく決まり、7連続得点してリードを広げ、その後もデンソーが流れを渡さず、セットを連取した。第3セット、デンソーは多彩な攻撃を展開しリードするも、このセットを落とせぬKUROBEは梅津のサーブで攻めて粘りを見せ、くらいついていく。加えて、デンソーにミスが続いて18-18にもつれ込んだ。しかし、デンソー川畑のフライングサーブから5連続得点して勢いに乗り、最後は横田(真)がスパイクを決め、ストレートでデンソーが勝利した。		

試合番号 : 436	試合会場 : 宝来屋郡山総合体育館 (郡山総合体育館)	観客数 : 1,018
開始時間 : 15:00	終了時間 : 17:20	試合時間 : 02:20
主審 : 桑原 健輔	副審 : 津島 由香	
日立Astemoリヴァーレ 通算 11勝 14敗 ポイント: 33	18 第1セット 25 25 第2セット 18 25 第3セット 17 26 第4セット 28 10 第5セット 15	PFUブルーキャッツ 通算 10勝 15敗 ポイント: 30
監督コメント 高さのある相手に対し、対策を練り試合に挑みました。我慢する場面が多く、粘り強く粘りましたが、攻撃が通らず悔しい結果となりました。フルセットの接戦となりましたが、ともに戦って下さった方々、ありがとうございました。明日、対戦カードは変わりますが、大事な試合が続きます。今日の敗戦は切り替えて、明日こそは勝利を届けたいと思います。引き続き熱いご声援をよろしくお願いいたします。	2	監督コメント 久しぶりの勝利を嬉しく思う。連敗中で選手達はプレッシャーがかかっていたと思うが、明日につながるようなプレーが沢山あって良かったと思う。また明日は違う対戦相手との試合になるが、全力で戦いたいと思う。本日も沢山の応援、ありがとうございました。
要約レポート 現在、レギュラーラウンド7位の日立Astemoリヴァーレと9位のPFUブルーキャッツの対戦。第1セット序盤、日立Astemo野中のブロック、長内、上坂の攻撃に対し、PFUは鍋谷、志摩の攻撃でリードを広げる。メンバーチェンジやタイムアウトで流れを変えようと試みるも、PFUの勢いは止まらず、中盤にブロックを重ねたPFUがこのセットを取った。第2セット、日立Astemo長内、上坂が奮起する。PFUも負けじと粘り強く守り、中盤は一進一退の攻防となる。両チーム連続得点が欲しい所で日立Astemoは、長内がスパイク、サーブで連続得点し、このセットを取った。第3セット、お互い負けられない一進一退の攻防が続く。要所でPFUは志摩、日立Astemoは第2セット途中から入った室岡が得点を重ねる。中盤、PFU志摩の攻撃を日立Astemoは、攻守の要となった室岡が落とさず、勢いに乗り突き放しに掛かる。PFUはタイムアウトで流れを変えようとするも、日立Astemoの勢いを止めることが出来ず、セットを連取した。第4セット、何としてもこのセットを取り、フルセットに持ち込みたいPFUに対し、日立Astemoは入澤がブロック、長内がスパイクを決める。手に汗握る攻防の中、日立Astemoが先に12点を取り折り返すと、PFUは鍋谷で、日立Astemoは長内、室岡で得点を重ねて行く。要所でPFUバルデスが得点を決めるが突き放しに掛かれない。終盤までも、日立Astemo長内が奮起。それに室岡も続いてデュースとなるが、最後は日立Astemoのスパイクがアウトとなり、PFUがこのセットを掴んだ。		

試合番号 : 437	試合会場 : 四日市市総合体育館	観客数 : 1,350
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:32	試合時間 : 01:32
主審 : 饗庭 和恵	副審 : 西中野 健	
トヨタ車体クインシーズ 通算 12勝 13敗 ポイント: 33	19 第1セット 25 16 第2セット 25 17 第3セット 25 第4セット 第5セット	久光スプリングス 通算 16勝 9敗 ポイント: 47
監督コメント ホームゲームでたくさんの応援の中、0-3で負け、非常に残念に思います。今日のゲームでは、サーブは返っていたものの、いい形でオフェンスにつなげられず、また、相手のディフェンスにも苦しめられました。明日のゲームでは気持ちを切り替えて戦うので、引き続き応援よろしくお願いいたします。	0	監督コメント 先週の2連敗を引きずらず、今日の試合は気持ちを切り替えて戦うことができた。細かいミスなどまだまだあるが、セットを重ねる毎に修正やトライする場面が多く、明日につながるゲーム内容だった。今日のゲームで出た自チームの反省を明日につなげ、2連勝で神戸に帰りたい。本日も沢山の応援、ありがとうございました。引き続き熱い応援、よろしくお願いいたします。
要約レポート 現在リーグ5位の久光スプリングスと6位のトヨタ車体クインシーズの対戦。本リーグを1勝1敗で迎えた第3戦の第1セットは、久光が先行して始まった。久光は、中島、荒木、濱松の攻撃で、トヨタ車体は、周田、鳴原の攻撃で得点する。中盤、周田のブロックやダニエル、ハッタヤの攻撃で追いつけるトヨタ車体は、久光は中島、ファンヘッケの攻撃で突き放す。終盤に入っても石井、長岡の攻撃で攻撃の手を緩めない久光は、鳴原の攻撃やサービスエース、ダニエルの攻撃で得点するトヨタ車体を振り切りセットを先取した。第2セット序盤、一進一退の攻防からファンヘッケの連続攻撃が決まり久光が抜け出す。対するトヨタ車体は鳴原、ダニエル、大川の攻撃で追いつける。中盤、鳴原の攻撃などで同点とするトヨタ車体に対し、久光は長岡、中島の攻撃、荒木のブロックでリードする。終盤、ファンヘッケの攻撃や中島のサービスエース、荒木のブロックで更にリードを広げた久光がセットを連取した。第3セットは、トヨタ車体ダニエルの攻撃で始まった。久光は、直ぐに中島の攻撃で得点を奪い返す。大川、周田、ダニエルの攻撃で得点するトヨタ車体に対し、久光は、ファンヘッケ、濱松の攻撃などでリードしてテクニカルタイムを迎える。さらに久光は長岡、中島の攻撃、荒木のブロックでリードを広げてこのセットも取り、ストレートでこの試合に勝利した。		

試合番号 : 438	試合会場 : 四日市市総合体育館	観客数 : 1,200
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:11	試合時間 : 01:41
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 吉岡 奈々	
東レアローズ 通算 19勝 6敗 ポイント: 54	17 第1セット 25 25 第2セット 21 25 第3セット 20 25 第4セット 15 第5セット	NECレッドロケッツ 通算 16勝 9敗 ポイント: 51
監督コメント 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。1試合1試合大事な試合になってくる中、今日はゲームの入りところで課題が多く、ミスが続きましたが、第2セット以降粘り強いディフェンスから攻撃へつなげることができ、東レらしいプレーで勝利することができました。明日は攻撃力のあるトヨタ車体との試合になります。前回の悔しい敗戦を思い出し、スタートからエネルギーに戦います。応援よろしくお願いいたします。	3	監督コメント 非常に悔しい一戦となり残念です。第2セット以降にオフェンスのリズムが悪くなり、整えることができず、相手の流れのまま試合が進んでしまいました。サーブで攻めてブロックディフェンスをはめてオフェンスで圧倒という私たちのやりたいプレーを東レにやらせてしまいました。明日の試合に向けて、修正と切り替えをして挑みたいと思います。明日も応援よろしくお願いいたします。
要約レポート 第1セット、NECレッドロケッツが先行する。東レアローズは石川、井上、クランの攻撃などで追いつけるが、NECは、山内のサービスエースや古賀、吉谷、島村の攻撃でリードを広げる。中盤に入ってもNECの勢いは止まらず、島村のブロックや廣田、山内の攻撃などでリードを広げる。東レも小川、石川の攻撃で得点するが、このセットはNECがリードを守り先取した。第2セット序盤、東レは多彩な攻撃を繰り広げて先行する。対するNECは、古賀、島村、吉谷の攻撃で追いつけるが、東レ野島の攻撃などで東レが5点リードしてテクニカルタイムアウトを迎える。勢いに乗った東レは、クランが連続でアタックを決めるなどリードを広げる。NECは、古谷、廣田がアタックを決めるが、東レは、小川の速い攻撃やクラン、石川の攻撃などで追いつけを許さず、最後は西川がアタックを決めてセットを奪い返した。第3セット、勢いに乗った東レは、井上、石川の攻撃で先行する。NECは、山田、古賀、吉谷の攻撃で追いつけるが、東レは、石川、野島の攻撃や石川のブロックでリードを広げる。中盤、NECは山田のブロック、古賀、山田、島村の攻撃などで、同点に追いつき一進一退の攻防となる。終盤、クランの攻撃とブロックで抜け出した東レが、このセットを取った。第4セット、石川の強烈なサーブからクランのブロックや井上、クランの攻撃で、東レが先行する。NECは、古賀、島村、吉谷の攻撃で反撃するが、東レはクランのサービスエースもあり、12-5と大きくリードしてテクニカルタイムアウトを迎える。その後も石川、クラン、井上、野島の攻撃で得点を重ねる東レに対し、NECは、山田、山内の攻撃、古賀のブロックで追いつける。終盤、NECは古谷、山田の攻撃で得点するが、石川の攻撃でリードを守った東レがこのセットを取り、勝利した。		

試合番号 : 439	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 1,141
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:08	試合時間 : 02:08
主審 : 本間 明	副審 : 木内 誠二	
ヴィクトリーナ姫路 通算 5勝 20敗 ポイント: 20	25 第1セット 21 25 第2セット 22 15 第3セット 25 25 第4セット 20 第5セット	JTマーヴェラス 通算 18勝 7敗 ポイント: 53
監督コメント 本日も多くの皆様にご観戦、ご視聴いただき本当にありがとうございます。 第1セットの序盤にアグレッシブなディフェンスが奏功しました。それによってゲームの主導権を握ることができたことが、今日の勝因のひとつだと思います。 第3セットは攻守において歯車が合わない状況がありましたが、第4セットに立て直しを試みて辛抱強く戦ってくれたことを嬉しく思います。明日も引き続きのご声援をよろしくお願いします。	3	監督コメント 姫路のホームゲームは会場全体でムードを作ってプレッシャーを感じるゲーム展開になりますが、今日は相手のサーブとブロックに対して、自分たちのサイドアウトが取れることができませんでした。 点数を取れるときにしっかりと取らなければ相手のペースになってしまうので、まずは一人ひとりの役割と自分たちの強みを明日の試合では確認して準備していきます。 ご声援ありがとうございます。
要約レポート 先週に続き連勝したいヴィクトリーナ姫路とJTマーヴェラスの一戦。第1セット、姫路は宮部のブロック、松本のアタックで勢いをつけJTを突き放す。JTは田中のサービスエース、ロウのアタックで追いつけるが、姫路の勢いは止まらずセットを先取した。第2セット、姫路はブラク、金田のブロックでリズムを掴む。対するJTは林、ロウのアタックで追いつく。終盤、姫路・花井が好レシーブでチームに流れを呼び込み、セットを連取した。第3セット、後がなくなったJTは和田のサーブとアタックで得点を重ねる。姫路は選手交代で流れを変えようとするが、JTに傾いた流れは変わらず、このセットを取り返す。第4セット、序盤から一進一退の攻防の中、姫路は松本のサービスエースで一歩抜け出した。JTは西川のサーブで攻めて姫路に追いつくが、姫路は宮部、ブラクの強烈なアタックで流れを掴んで点差を広げ、最後は松本のアタックが決まりホームで嬉しい勝利をあげた。		

試合番号 : 440	試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)	観客数 : 412
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:23	試合時間 : 01:23
主審 : 佐々木 伸子	副審 : 服部 篤史	
埼玉上尾メディックス 通算 18勝 6敗 ポイント: 52	25 第1セット 15 25 第2セット 14 25 第3セット 16 第4セット 第5セット	岡山シーガルズ 通算 6勝 19敗 ポイント: 21
監督コメント 岡山シーガルズの多彩な攻撃、戦術、粘り強いディフェンスにいつも流れを持っていかれてもおかしくない状況の中で、選手たちが焦らず慌てずにボールをコントロールしてくれました。 気が引き締まったナイスゲームでした。関西での試合でしたが、たくさんの方のサポート・メディックスファミリーのご声援が力を与えてくれました。ご声援ありがとうございます。	3	監督コメント 埼玉上尾メディックスには苦手意識があるのか、最後までチャンスを探ることができなかった。 厳しい状況の中、劣勢でも中堅選手を核とし、粘り強く戦うことによってチャンスを探る努力が必要である。 気持ちを切り替え、明日のヴィクトリーナ姫路との一戦に臨みたい。本日は力強い拍手での後押しと応援をありがとうございました。
要約レポート 前回の対戦で連勝している埼玉上尾メディックスに対して、連敗を避けたい岡山シーガルズの一戦。第1セット、序盤から見ごたえのあるラリーの応酬が続いたが、埼玉上尾の内瀬戸が要所でスパイクを決め、岡山に流れを渡さない。岡山も及川のスパイクで勢いに乗りたところだが、埼玉上尾の勢いが止まらず、セットを先取する。 第2セット序盤、埼玉上尾は岩崎のサービスポイントで点差を広げるが、岡山も第1セット同様にレシーブで粘り、長瀬、佐伯のスパイクで得点を奪い点差を縮める。しかし埼玉上尾の勢いは変わらず、最後はサンティアゴのスパイクが決まりセットを連取した。 第3セット、両チームとも粘り強くレシーブをつなぎ、長いラリーが続く展開となる。埼玉上尾はロゾや青柳の攻撃、対する岡山は遠藤、川島のスパイク、宮下のサービスポイントで激しい攻防となる。しかし岡山は一歩及ばず、埼玉上尾の内瀬戸がマッチポイントを決め、3-0でこの試合を制した。		

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント: -	第1セット	通算 -勝 -敗 ポイント: -
監督コメント	第2セット	監督コメント
	第3セット	
	第4セット	
	第5セット	
	第5セット	
要約レポート		

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント: -	第1セット	通算 -勝 -敗 ポイント: -
監督コメント	第2セット	監督コメント
	第3セット	
	第4セット	
	第5セット	
	第5セット	
要約レポート		